

平成 26 年度 AOTULE 加盟大学との教育研究連携助成 採択者

〔研究者〕	
	氏名 江頭 竜一（えがしら りゅういち） 所属 国際開発工学 職名 准教授
〔タイトル〕	
国際開発工学を通じた AOTULE 加盟大学との学生交流	
〔背景〕	
<p>国際開発工学科では、「国際開発工学コロキウム」という授業科目において、学生をグループ分けし、そのグループごとに国際的な模擬プロジェクトを遂行、その結果の発表、討論、等を通して、個々の工学分野の統合、応用を体得させ、これらの重要性を認識させている。平成 23 年度より、このような学生自身で遂行した模擬プロジェクトに関して他国の学生とも討論する機会を設けるべく、最も評価の高かったグループの学生を本助成金等を利用して AOTULE 学生会議に派遣している。派遣した学生にとって貴重な経験となる上に、模擬プロジェクトに関する他国の学生からの様々な意見の収集、全受講学生の AOTULE 学生会議派遣への意欲を発奮材料とした授業そのものの活性化、AOTULE 学生会議を通じた学生交流の活発化、など多くの成果が得られている。</p>	
〔目的〕	
<p>本年度も、これまでと同様に「国際開発工学コロキウム」の受講生数名をオーストラリア・メルボルン大学において開催の AOTULE 学生会議に派遣し、模擬プロジェクトの内容について発表させる。また、AOTULE 会議の前後も利用して、派遣学生をメルボルン大学の見学をはじめとした交流プログラムなどに参加させる。</p>	
〔実施計画概要〕	
<p>上記「国際開発工学コロキウム」においては、評価の高かったグループの学生のうちの 2 名（いずれも日本人）を AOTULE 学生会議に派遣する。本年度からはグループ内でも競争意識を刺激し活動を活発化するために最高評価グループの中でも特に評価の高い学生 2 名のみを派遣する。本年度の AOTULE 学生会議は、11 月 26～28 日にオーストラリア・メルボルン大学で開催される。この間学生会議の発表講演がない期間もメルボルン大学内の見学ツアー、学生交流プログラムなどの活動に参加する。学生の引率には申請者が 1 名で当たる。また、申請者は、他の AOTULE メンバー大学の教員と、AOTULE 学生会議の際の本学科の本渡航プログラムについて情報・意見交換し、今後の本プログラムの拡充について探る。</p>	